京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

本紙 一錢▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜録

漢城より

（二十七日） 旅浦邊人

▲吾等は屢々「輿論」なるタームに接する。而して「輿論の力」なるもの〻甚だ多くの場合に權威あるものたるを信ず、之れ事實なるが故に信ずる也。

▲然れども吾國に於てはカラ騷ぎのみ選りに流行りて、眞に輿論と稱すべきものゝ喚起さるゝことは極めて罕れなり、故に民論の權威顯はるゝ機會の極めて罕れにして、カラ騷ぎは雖て怨嗟の聲と變ずるを見る。

▲輿論の起ること稀にしてカラ騷ぎの流行るは民間に卓越したる思想と、强硬なる意志の存する有りて民論を統一し指導するもの之れ無きが爲め也、然らば民間に斯る思想と意志との存在せざるやといふに決して爾らず。

▲原來吾國の識者又は先覺者は餘りスマシたがるの癖あり、或は個學の獨慎てふ敎をハキ違へたるに因るやも知れねど、夫れで以餘りに子供らしからずや、冷か過ぎずや、況んや識者たり先覺者たる人は、世の皆已を信じ、已を敬せんことを不言不語の間にも要求しつゝあるに於て、何ぞ起つて社會を指導し、彼の「カラ騷ぎ」をして條理ある輿論たらしめざる。

▲我が京城新報紙上、頃日諸名士の産業振興策を連載せり、何れも名論卓説と云はんは少しく好む處に阿ねるの嫌なからず、唯强健なる實際的議論として頗ぶる推重に價せずや、而かも諸名士の所論は多く民間の願望を綜合したるものに等しく、民間の願望は未だカラ騷ぎとこそせざれ、やがては或喚聲を醸成すべく其處に醗酵の素を成しつゝありし也。

▲去れば吾等は諸名士の所論が民間の願望を綜合し、指導し、同時に其の位置が條理ある民間の願望を遂げしむるの義務あり責任あり且つ便宜を有せる人々なるが以に世人は其處に希望を繋け得べきものなることを信じ、而して未だカラ騷ぎも起らざるに既に民間の願望は輿論たるべく整調され、而かも其の未だ發せざるに方りて早くも遂げらるべき希望を生じたるを慶す、如斯者輿論の權威も興なけん於此吾等は善を爲しつゝあるを樂しみ思ふ也。

雜報

列强海兵補充現況

列强の海軍擴張競爭は引續き全力を擧げて行はれ居るに拘はらず其首位を占むるものは依然英國にして兵員約十三万を有し次は近年万事に長足の進歩を遂げたる米國の五萬八千、第三は佛國の五萬五千、第四は獨國の五萬四千、第五は露國の四万九千、第六は伊國の三萬一千等順次之に次り而して其補充方法は左の如し

▲英國 は全部の兵員（豫備員含む）を志願者より採用するを以て巨費を要するの不利ありと雖も各兵科に於て長期勤務の熟練兵を常に使役し得る特長を有せり

▲米國 も亦兵員を志願者より採用すと雖も何故か同國は此の補充制度に依りては其所要の兵員を充足する能はずして絶わず不足を訴へ居れり而して時々志願者の數幾許か增加することあるも其原因は經濟界の不振にあるを以て到底一時の現象たるを免ぬかれず

▲佛國 は沿岸各地の壯丁を徴募して長期服役の熟練なる兵員を充實せしむることゝ爲し居れり而して之が爲め右沿岸地の壯丁に徴募前に於ても相當の特別保護を與へ居れり

▲獨逸 も亦徴募兵を以て充實するを元則と爲し居るものなり尤も沿岸地及び准沿岸地より集め得るものは所要の約三分の一に過ぎざるを以て一方に志願兵採用の便法を設け漸く缺員なからしむる狀態にあり

英國東宮の御來遊

英國皇太子並に其弟君が明年を以て世界漫遊に行はるゝ趣なるが由來英國皇室には屢々歴代の皇太子を外に遊ばしめ以て外國の實狀を研究せしめらるゝの風あり現に今帝の如きも今を去る二十九年御年十六にして兄君クレアレンス公と共に軍艦バカント號の候補生として世界廻航を試みらるゝの途次親しく日本に御來遊ありしことあり今回の御旅行が如何なる形式を取る可きやは未だ明ならざるも東宮幷に弟君は共に海軍兵學校にあらせらるゝを以て或は先年の如き例に依らるゝこともあらんか東宮は御名をエドワード、アルバート、と申し御歳十六に渡らせらる又其弟君とあるは多分御次弟アルバート、フレデリック（御年十五）を指すものなる可し

滿洲商戰の活氣

滿洲に於ける本年の大豆作柄は一体に良好にして實收高は昨年に比し約一割增加し七百萬石餘に上るべしとの見込なるも當初豫想されたる如く氣配高からず目下各地共靜穩にて各輸出商も形勢を觀望して表面頗る平靜の觀を呈せるも其實三井の如きは既に卅餘名の店員を各地に派して商戰の準備怠りなき一方にはサミユル商會亦大活動を開始せんとし大連其他六箇所へ出張所を新設せるが同商會にては當初より百萬圓迄の損失を見込み斯業の取引を開始せるだけあり企畫却々に大規模にして本年の如き大に雄飛せんとしつゝあり尙一面には獨逸商人等が本國の保護の下に大活躍を試みんとし續々倉庫を建設しつゝあれば本年の大豆戰は極て猛烈なるべしと觀測さる

道長官の人選難

朝鮮總督府新官制は三十日の官報を以て發表され十月一日より施行さるべし然るに之に伴ふ任官者の詮衡は頗る行惱の姿に在りて最も必要急務とせらるゝ道長官の如き殆んど絶望の有樣なりと傳ふ而して這般行惱の原因に就ては種々なる理由ありて存するが其主因とも認むべきものは第一地方長官として其權限甚しく微弱なる事是なり則ち其待遇は堂々たる勅任官なるも警察權を有せざるを以て到底内地府縣知事の比に非ざればなり警察權を有せざる地方長官は蹩足の獨歩るきと等しく地方の主腦者たる虛位を擁するのみにして逆に滿足なる行動を爲し難し又第二は新設制度の常として希望徒らに多きも經費之に副ふ能はざる事是なり現に地方現在の狀態に就ては財源の窮乏甚しく決して期待の半ばだも達し難き事瞭然火を見るよりも明かにして是れ最も苦痛とする處なり有爲の材能を抱き薀蓄の經綸を持し居る人なりとせば一層其苦痛甚大なれば斯く任官を厭ふの狀ある巳むを得ざる次第なりとす第三は其俸給の比較的少きも亦一因なりとす則ち内地は既に三割の增俸ありて充分其身分生活を持するに足る而して朝鮮に於ては如何といふに幾分の增加俸ありとするも遠く交通不便の各道にありては家族的種々の困難あり殊に兒童の敎育に於て甚しく故に二箇の家庭を作りて之に處するとせんか彼の幾分の增加俸は毫も其要を充たさず却て加俸なき内地の優れるを見る勞々此の如く人撰を難ずる所以なりと云へり

講談

大岡政談 越後傳吉 第八十六回

旭堂南陵講

○「サアこれから吉原へ乘込う ▲「ヨシ行う〳〵、藤兵衛宜いかね 藤「マア〳〵待てくれ、飲むのは搆はぬが吉原まで奢らされちやア足らなくなつてしまふ 一同「愚圖々々いふな、酒を飲んで赤い顏をして自分の家へボンヤリ歸る團扱があるものか、斯ういふあぶく錢の取れた時にヤア偶には白粉臭い姐さんの相手をしなきやアならねえ、サア〳〵行う」何しろ口を箝で飯を食てる連中だから狡猾い〳〵、もう藤兵衛はフラ〳〵として居る奴を無理矢理に連出し威勢よく乘込んで來たのが吉原馴染の女郎屋へドッと上り込んで大勢の藝妓を招き、スッテン〳〵と大散財、藤兵衛酔てゐるがこの始末にヒヤ〳〵して爾う斯うする中に敵娼の花魁がズーッと決つた、頓て引けになつたが藤兵衛の敵娼は藤兵衛が餘り美い男でない所へ金を餘り使はされるので何となくソワ〳〵してゐる、ソコで花魁が嫌な男だと思つたものか、到頭肝腎な金主の藤兵衛が宵光を食て了つた、早くいふと強い振れやうをしたので酔てゐる酒もいつしか醒て了ふ何も癪に障て堪らない、蒲團の上に座て見たり凝問がつて見たり、折には廊下へ出て見たり 藤「エヽ面白くもねへ、よくこんな馬鹿な目に遭つたもんだ、昨夜の料理屋の勘定がこれ〳〵に附てる、そこで今日の勘定が大變だ、何も十兩で足りねへくらゐだ、眞個に人を馬鹿しやアがつた、馬鹿々々しい」と怒つてゐるうち夜はモウ白々と明けて參る、連中は皆大欸待と見ゐましてニコ〳〵もので一同「藤兵衛、サア引上げやうか 藤「チエツ 一同「何を怒つてるんだ 藤「何を怒つてるんだつて、人を苦しめやアがつて 一同「まづい面アするない、女郎買をして遊んだ翌日は威勢よく引揚げるもんだ 藤「乃公は何うも馬鹿〳〵しくつて、委欲よく引揚げられない 一「サア〳〵何所かで一寸朝迎ひ酒といふ奴を一杯飲んで家へ引取らう 藤「オイ〳〵汝等ア酒を飲むのは構はねえが乃公ア知らねぞ これだけ飲んで遊んで矢ッ張り、何とかしなくちやア不可ねわから、朝の勘定まで知らねわぞ 一「愚圖々々いひなさんな、サア一緒に行から」漸う女郎屋の勘定を拂ひますと、十兩の金ホンの二分二朱ばかり殘つた 藤「マアよくこんなに悉皆使はせやがつたいま〳〵しい」と怒りながら一寸したところで一杯飲み、殘つてゐた金までも宜い塩梅に使ひ果してうのまゝ宅へ歸ると藤兵衛腕を組で考へ始めた 藤「何のことだい、金は使はされるわ女郎にや振られるわ馬鹿々々しくつて物もいへねへアー〳〵欠伸が出やアがる睡い〳〵仕樣がねゝな、ホイこんなことはいつて居れねゝ十兩の口の願書を認てやらなけりやアならないエー仕方がねへ、馬鹿々々しいが齎う、アヽ何とかいつたな、さう〳〵下書が此所にあるコーツとマア宜い加減に書いとかう」箝を探て書出した、庄左衛門は實に災難だ十兩取られたうへ二日醉で睡い眼を擦りながら馬鹿らしがつて寢たんですから、何せ碌な願書は出來やアしませんそれを持てテク〳〵庄左衛門の宿へ遣て來た 藤「エヽれ早うございます 庄「ハイ御苦勞さまでございます 藤「エヽ何うも大きに遅うなりました 庄「ハイ何うでございます甘いこと出來ましたか 藤「宜いも〳〵、ありやアもう十兩といふ大金が掛つてるんですからな、何うも昨夜はスッカリと振られました 庄「エッ……藤「ナニ此方のことで、何うも御覧の通り私の眼を御覽なさいまし 庄「大分眼が赤うございますな 藤「昨夜徹夜で手代仲間が丁度二十八私の方へ寄合をしましてね 庄「ハイ 藤「それからマア酒肴が出まして、何でございます、スッテン〳〵と大散財 庄「散財なんぞなさいましたか 藤「そりやア嘘言でございますけれども、到頭れ前さん徹夜皆が考へて漸う書上げましたのが、この願面でございますこれをばれ出しなすつたら勝公事は受合でございます 庄「何うも御苦勞さまでございます 藤「勝に決つとります、貴方の方に少々無理があつたつて勝ます大丈夫でございます」藤兵衛願書を渡すとそのまゝ宅へ歸つて寢てしまつた。

●諸公債諸株券
現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 御誂洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話九九三

名譽銀牌受領
キリンビール

●注意●

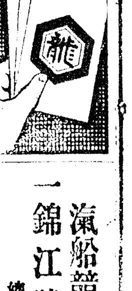
米國プロクター、エンド、ギャンブル會社製品
包裝ニ「アイボーリ石鹸」ノ日本文字アル者ハ舶來品也
欺カルヽ勿レ

乾燥牛乳
クリモラ
こなみるく
壹罐二百五入（四十五錢）
米國政府特許品（一九〇二年）
原料 米國に於て純良の牛乳を眞空装置にて乾燥したる粉末牛乳にして他物を混合せざる最も純良の粉末牛乳なることは大學敎授大澤博士の證明にて明なり
使用法は至極簡單なり用に望み自分の欲する丈け湯に溶かして用ゆるか又は其儘にて用ゆるも差障なし
特色 コンデンスミルクの如く砂糖を混合せざるを以て胃腸を害するの恐れなく用に望み何時にても新鮮なる殺菌牛乳を作るを得る最も簡便のものなり
日本總代理店 橫濱市境町二丁目 合資會社 友田商店
朝鮮代理店 京城本町（郵便局前） 調劑藥局 山岸天佑堂（振替口座朝鮮二〇三番、電話三七二番）

會席料理 大勉強 京城永樂町三丁目
酒道樂 電話一二七六番

入院隨意
内科 小兒科 外科 梅毒 淋病
高井醫院 京城壽町三丁目 電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

●生徒募集
各學年補缺募集
私立京城夜學校
私立京城女子技藝學校
在來の第一學期及第二學期は九月末限り終了に付新に第一學期第二學期及第三學期（中學三年程度）を設け十月三日より始業す入學志望の方は至急申込まるべし



滊船競賣廣告
一 錦江號 總噸數四十四噸
右十月三日弊宅に於て競賣致し候に付き御希望の御方は同日午後二時御來車被下度候
仁川本町四丁目 山本回漕店（電話五二二番）

電話開通 番號九四六番
すし、すき燒會席 外小鉢物色々
右精々勉強を以て御求に應ずべく候間御引立の程伏て願上候尙出前の義は御一報次第遠近に不拘ず持參致すべく候
京城旭町三丁目 夫婦庵

諸建築 ペンキ塗請負業
永樂町二丁目 渡部正美（電話一〇二八番）

大聲蓄音器●葉卷煙及莨●洋酒類新荷着
歐米雜貨洋酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商
漢城美術品製作所製品特約販賣所
京城本町二丁目
辻屋
本店電話二四八
支店電話三六八
韓國振替口座八七

東京電報

▲財政計畫と豫算　政府は四十四年度財政計畫の大要を十月下旬開かるべき全國手形交換塲席上に於て發表し猶ほ引續き各政黨の重立つ者を一堂に會して豫算內示をなすことに內定したり（廿八日）

▲觀光切符の發賣　鐵道院は今回の朝鮮併合を期とし同地の地理風光を觀察する爲め十月五日東京發朝鮮觀光の船車を運搬する事となり廿六日より切符發賣を開始せるが成績良好なり（同上）

▲授爵者の發表期　朝鮮貴族令に基く授爵者は既に宗秩寮の審議を了したれば來る十月五日發表せらるべしと（同上）

▲侍從武官御差遣　第二艦隊及び呉佐世保豫備艦隊並に舞鶴軍港に侍從武官男爵西紳六郎氏を御差遣相成たり（同上）

▲騎兵の特別演習　岩手縣盛岡方面に於て十月十四日より騎兵特別演習を開かれ閑院中將宮殿下統率さるる筈なり（同上）

▲商品改良會開催　農商務省商品陳列所にては十一月一日より第二回商品改良會を開催する筈なりと

▲美術展覽會出品　文部省にて開催の第四回美術展覽會は愈々十月一日より上野竹の臺なる會場に於て事務を開始し同月十四日より開會の筈なるが本年の出品は頗る多數也と

伯林電報

▲獨逸皇弟の訪英　獨皇弟はバルクホームに於て英皇帝と英皇太子の埃及御滯在に付き懇談せり（廿九日）

▲駐佛大使の任命　露國外相イスボルスキー氏は佛國駐箚大使に任命せられたるが赴任期は十一月中旬なるべし（同上）

韓報

寺內統監の巡覽

寺內統監は二十九日大韓醫院に到りて各室を巡覽し終りたる後ち秘園內なる博物動物各館を觀覽せられたりと云ふ

園藝品評會の摸樣

目下開會中なる第一回園藝品評會に關する見聞を一括して報道せんに

▲初日の觀覽者　二十八日午前九時より廣く觀覽を許せしが初日の事とて定刻前より續々と押掛け午後四時の閉會までに日鮮人四千名と註され其內容を分かてば日鮮各二千名位にて婦人連の觀覽は意外に多數なりし尚ほ當日團體の觀覽は仁川の府尹が引卒せる者のみなりしが二日目の廿九日は午前丈けの中坡州郡守の引卒せる一團と京城某學校の一行を見受けたるが當事者が本日は昨日よりも多數の觀覽者あるならんと打語り居れり

▲審査結果發表　最初當局者は廿六七日の兩日を以て全部の審査を了へ其結果を發表し斯くて廿八日より觀覽を許す筈なりしもメ切期限後出品の到着するもの頗る多く嚴密なる意義よりすれば是等期限後の着品に就ては一向取合はざるを可とすれど本會は第一回の事とて可成多數の出品を希望し且つ出品者の篤志も水泡に歸せしめざるの方針を取るべき事と議俄に一變し廿六、七日以來は恐ろか廿八日の着品をもそれぞれ陳列し居るが如き始末ゆゑ出品總數は四千五百餘點に達し從つて審査も意外に時日を費し廿九日午前中にも尚は結了するを得ざりしが斯ては到底底止する所を知らざれば斷然正午を以て打切りとなし今夜中に於も結了し明日發表する事となれり

▲褒賞授與式　既報の如く褒賞授與式は閉場の日即ち來る二日午後二時より同會場に於て擧行の筈にて廿九日副會頭本田幸介氏の名に於て朝野の重立者四百五十餘名に案內狀を發せしが尚は會員も多數出席の筈なれば彼此れ七百餘名に上るべく摸擬店などの趣向もあるよし

●組合學校入學動機　平安北道雲山郡北鎭洞（北鎭）居留本國人等は同地に小學校設立の必要を認め過般學校組合に依り小學校を設立し居留民の子弟を教育しつゝありたるが同地には耶蘇教徒の設立に係る朝鮮人學校と然らざるものとの二校ありて相當就學兒童を收容し比較的新進の教育を爲し居れるが本月五日より二十日に至る間に在留米國人子弟及朝鮮人の子弟四名は相前後して本國人の設立に係る組合學校に入學するを見たり今其の動機を聞くに朝鮮人中開運の思想を抱ける者は過般日韓合併の事あるや早くも將來日本的の教育を受けしむるの利益なりとの觀念に出でたるものにして尚ほ續々入學を見るべき模樣なりと

●事務引繼の終了期　官制改革は愈十月一日より發表實施さるゝ筈なるが官制改革後に於ける施政方針は從來の政界的なるに反し今回は秩序的組織となり隨つて各地方に於ける行政機關も擴張さる可きことは一般の認むる處にして爲に各部は昨今非常の大繁忙にて事務引繼準備に鞅掌しつゝあるが右引繼準備は日を追ふて進捗し各部會計課を除いては皆來る十月十日迄に終了する豫定なりと因みに各部會計課は事務複雜なるを以て十日迄に終了を見る能はず二三日遲延すべしと

●公金取扱者の惡計　地方に於ける面長及公金領收の職にある輩が從來此取扱金を潛服し私利を營める弊實は屢々之を耳にせしが彼等は今回免租減税の特典發布せられたるを奇貨とし第一期の納額を第二期とし或る無智の衆民を欺きて此特典あるを知らしめず其納税を得て彼是流用し是の欠通金を補塡せんとする者續出せるより當局者は嚴重其取締に着手せりと

●水道上水保護規則　廿九日統監府令第六十一號を以て公布されたる水道上水保護規則の內容は水道上水保護區域內に於て瓦礫塵芥動物の屍体等を投棄し又は家畜放飼、捕鳥游泳洗濯其他水質を汚損すべき行爲を敢てしたるものは拘留又は科料に處せらるゝことにして外に多少の制限を規定せり

●最近の內地留學生　最近其の筋に於て調査に係る朝鮮人の日本內地に留學生總數五百四名にして之れが學業別を聞知するに專門部政治科及經濟科九十名（官費生を含む）實業學校七十二名（同上）宗教哲學校（文學）十名醫學校二六名普通部中學校七十名小學校八名其の他各種學校百三十七名にして未詳なる者九十七名なりと

●國有田拂下の希望　舊韓政府の國有田は畑三萬四千二百八十二町步田六萬六千四百五十九町步合計十万七百四十二町步ありて此小作料は百川十一萬三千八百六十八圓の巨額を示めし內國稅中重要なる財源の一に數へらる然るに之を民間に拂下げ國有の手を離るゝ時は這箇重要財源を失ふに到るべきも更に得らるべき地租と民有に移したる結果より生ずる利益とに考ふる時は如上の損失は充分償ふに足るべきを以て之が拂下を希望する向勘からず當局者中にも此意見を持するものありと言へば早晩事實問題として討究さるゝに到るべしと

●京元線の工事入札　廿九日朝鐵道管理局にて京元線第二區工事入札を行ひたるに結局左記の差にて小林組に落札したり

志岐組	二一四、九〇〇、〇〇〇
間組	二三一、五〇〇、〇〇〇
早川組	二一二、五一五、〇〇〇
小林組	一九四、四八四、〇〇〇
荒井組	二二六、三〇〇、〇〇〇
森組	一九八、五三五、〇〇〇
稻田	二一三、八三〇、〇〇〇

●未勘金決定と收入　今回納付免除の恩典に浴したる未勘金は決定額百五十万八百九十二圓にして之に對する收入濟額は十一萬七千百四十五圓なりと而して決定額中其後逃去せるものは頗る多數にして無慮五十餘萬圓ありと云ふ

●村民の道路大修理　龍山麻以西揚花浦に至る道路は從來存在しあるも降雨の爲め使用するに形狀を失ひたるより村民總出にて修理復舊せしめたり延長は揚花浦六百二十二間東幕四千間西湖部內四千四百間なりと

●地方長官と警察權　新官制による警察機關は依然特立機關たる警務總監部の下に統一せしむべきが地方道長官の之に對する權限を開くに必要の場合は隨時指揮し得べき制度なりと云ふ

●總督府直屬各機關　新官制實施後に於て各部に屬せず總督府に直屬す可きものは取調局、通信局、鐵道局、平壤礦業所、印刷局、營林廠土地調査局等なりと

●漢城府衛生會々議　漢城府衛生會にては來る十月十九日衛生會評議員會を開き時候柄の衛生施設其他の件に就いて評議する所あるべし

●新築工事と入札　經理部に於て龍山乙步兵聯隊大尉合同宿舍外五廠及羅南甲步兵及野戰砲兵聯隊大中隊被服倉庫新築工事を來十月五日記名入札の筈

●德富氏の水原行　來京中の德富國民新聞社長は二十九日午前九時南大門發南行列車にて水原へ向け出發したり

●山口會頭の出張　山口商業會議所會頭は二十九日午前九時南大門驛發南行列車にて馬山へ向け出發したりと

●松本主計の出張　軍司令部橋本一等主計は物資調査の爲め來る十月一日頃より何事慶源地方へ出張する由なり

合併後の產業振興策（十二）

統監府農商　小松綠君談

產業振興策に就ては是まで述べた所であるが、れのづから成算なれども、是は拙者等の大言併し產業の振興き批評位は出來蓋し產業の振興改良して工業をろう、けれどもといふほどのもるを得ぬ、是はを運ぶ所の機關の敷設が先立つことは何人もいふ所でれい〳〵は其の實行も見るであろう、農業に就ては米麥の耕作は申すまでもなく既に棉花蠶桑の栽培等着々進捗し居る有樣であるから此上、拙者等は獻策もないが一般の心得方に就きては大に希望がある、其れは外でもないが萬事に於て世界の進運に伴ふと言ふ事である、產業に於て殊に然りである、元來東半球の諸國が或は野蠻或は半開で終始する運命を有する間に於て、日本獨り嶄然一頭地を拔いたのは、泰西の文明を咀嚼同化して、位地は東洋に在り乍ら、文化は西洋に讓らぬまで進んだからである、併し其の進んだ個條を列擧するとなると聊か忸怩たらざるを得ぬ所がある、陸海軍の軍略、戰術となると事實が證明して居るから毫も疑がない、學問技藝是も自慢が出來るが、產業となると殘念ながら顏色なしといふべしである、農業だけは規摸小なりと雖も多く他國に劣らない、商工業となつては依然たる東洋流で世界に對しては恥しい次第である、是は事實が證明して居るから仕方がないので、論より證據貴社が「產業振興策」などと騷いで居るではないか、歐米諸國で今頃新聞紙上にてコンナ表題を掲げ、名士とかの意見を求むることなどは思ひも寄らぬ事である、如何にして「トラスト」を征伐すべきか、如何にして「ストライキ」を根絶すべきかといふ產業過盛的の救治策を講じて居るではないか、現に朝鮮でも鑛山は大抵外國人が取つた樣にいふて居るが、實は外國人のは五指を屈する程もない、日本人の持つて居るものは幾百もあるが着手するものが少いので空權の賣買が流行する、外國人は着實に大資本を投して永久の企業をする、幾百の鑛山中成功したものは僅少であるが、大に成功したものは外國人の經營に係るものであるといふのは此の故である、商業では淸國人にさへ數步を讓つて居る、京城でも安昌號などの信用あり且大規模の商店は日本人中にはない、其の他の地方では勿論淸國人の方が日本人より信用がある、開港場は勿論全州、公州、景江、大邱などは拙者親しく目擊したが、日本人の成功者は高利貸位で淸國人は正業者として成功して居る、なさけない次第である、拙者は國自慢をしたいのは山々である、併し羅馬でも波斯でもれ國自慢で亡びた自慢は進步の敵である、驕盈は個人でも國家でも大禁物である、世界の進運に隨伴せんとせば自國民の欠點を明白に感了して奮勵の氣を起さねばならぬ、れ氣に入らぬかも知らぬが僕は常に苦言を呈するを以て人にも國にも忠實なる所以なりと心得るものである。

東拓移民の募集

既報の如く東拓の移住民規則は去る十六日付を以て認可されたるにより同社に於ては移住に關し目下切りに準備中にて明春迄には第一回の移民募集を爲すべしと

觀光團の視察日程

中部鐵道管理局主催朝鮮視察觀光團は當初二百名の豫想なりしを其後の申込旺盛にて遂には百五十名の多數に達し愈來月五日を以て發程と決定されたるが是に對し朝鮮鐵道は大に歡迎の意を表し視察全區間に臨時列車を運轉し他に及ぶ限り輸送の便宜を謀らるゝ由なるが尚ほ當地實業界に於ても此際充分なる歡迎の意を表せんと夫々打合せ中なりと而して其視察日程は左の如し

▲十月七日下關着發同夜釜山に一泊▲九日朝京城着二泊其間仁川を視察▲十一日平壤着一泊▲十二日新義州着即日安東縣に渡り同所一泊▲十三日新義州に引返し▲十四日平壤を經▲十五日南大門に着京城一泊の上歸途に上る

●視察團体と鐵道局　今回東洋拓殖會社主催に係る內地篤農家朝鮮視察二等團体約五十名は十月二日釜山着同三日釜山發各地を觀察して平壤迄行き二十七日釜山へ引返し直に歸國の豫定なるが特に鐵道局にては團体用として車一輛を充用し乘車賃金を五割引となし又團体乘降驛にては普通旅客と區別し集合に便ならしめ尚車內持込手荷物等停車場內の運搬は驛夫に於て取計ひ其他出來得る丈け諸事便宜を計るべしと

●鐵道觀光團の歡迎　中部鐵道主催大觀光團來着に對し當商業會議所は固より一般實業界に於ても併合後第一の觀光として特に優待の希望あり是に就き廿九日民會に於ては準備上諸種協議さるべき由なるが某有力家の言に據れば兩會議所主催日鮮兩民大懇親會の擧も既に近くに迫れる事なれば成るべく此觀光團來着を期とし景福宮若しくは景熙宮構內に於ての歡迎會は時節柄最も妙なるべしと

●試作甜菜分析試驗　東拓會社が本年度試作せる甜菜は既に成熟し目下黃海道黃州興業會社內同社出張所及平壤附近の耕作地並に水原勸業模範塲に於て分析試驗施行中なり試驗の標準は第一糖分第二收穫量とし今日迄の成績によれば頗る有望なれば來年度よりは大々的耕作に着手すべく其方針を決定すべしと云ふ

●國境と淸國の杞憂　韓國の併合は淸國をして種々の杞憂を抱かしむるに到り現に鴨綠江岸に於ける同國官憲厲心の態は寧ろ滑稽に類する程なり而して利權回收熱は同國朝野に蔓延せる今日道般對抗的態度は頗る注意を要する事たるを以て吾國に於ても相當之に應ずる施設を爲し接壤地に釀起し易き國交上の憂患を未前に防止せざるべからずとて目下考究中なりと

●東拓視察團の勢揃　內國より渡來すべき東拓會社主催の實業視察團は來る二日釜山に到着するを以て會社よりは林理事松田庶務課長等出張して玆に勢揃を爲し旅行に關する打合を爲し夫れより視察の途に就く筈なりと

●黃海道近海の漁況　黃海道長淵郡夢金浦は昨今鎭南浦地方より大刀魚漁業者日鮮人二百餘名來浦盛んに從業中なるが本年度は試驗的なるに不係他漁業に比し大差なく最も良好にして尚ほ各地より移住者も多しと

●山縣副統監歸任期　山縣副統監は二十八日午後三時三十分東京出發歸任の途に就きたるが夫人令孃を伴へる旅行なれば途中に一二泊を費さるべく故に着京の日取は更に來電を待たざれば不明なりと云ふ

●西韓方面狀況視察　總監部は併合後に於ける地方狀況に就ては種々報告に接し居るが尚ほ實況查閱の爲め憲兵中尉高田警視を平安南北道へ派遣せり

●夏季講習會員招待　廿八日午後三時より夏期講習會員七十五名を學部に招きて茶菓の饗應を爲したるが當日前學相李容植氏も出席して記念の撮影を爲したりと

●英國陸軍大將北行　英國陸軍大將バリウ氏一行二名は廿九日午後九時十五分南大門發北行列車にて新義州へ向け出發したり

●仁川民會延期開會　仁川民會は廿八日午後七時開會之處廿九日に延期し既報の件を決議したる由

●菊地商工局長出張　菊地元商工局長は廿九日午前九時南大門發南行列車にて水原へ向け出發せり

公人私人

▲國太郎（大阪每日記者）入京中の所二十八日仁川へ向ふ
▲島崎新太郎（同上）同日釜山へ
▲豐島捨松（同上）同上
▲野木傳三（技師）同日水原へ
▲向坂幾太郎　同上
▲中村光吉（韓銀平壤支店長）同日歸壤
▲松本武政（鎭南浦新報主筆）同日歸社
▲秋本豐之進（鎭南浦理事官）同日歸任
▲兩角熊雄（平壤水道事務所長）同日歸任
▲平賀幾美（工學博士）同日釜山へ
▲和田維四郎（鑛業顧問）同上
▲永松運吾（時事新報社員）同安東縣へ

▲仁川米豆取引所▼

▲前場（廿九日）十一月限一節八圓六十三錢一錢六十錢五十九錢八錢▲二節五十七錢六錢五錢四錢三錢二錢三錢四錢▲三節五十四錢三錢四錢五錢四錢▲出來高五千石

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿九日）九月限寄十四圓五十三錢止五十八錢▲十月限寄四十二錢止四十一錢▲十一月限寄四十七錢止四十錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲酒田丸　三十日門司より入港
▲木浦丸　三十日大阪より入港
▲酒田丸　同正午大連太沽へ向出港
▲木浦丸　午後五時大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿八日の分如左
乘車客　五九七　下車客　八二二
乘車賃金　一〇八一、六九
▲南大門驛貨物扱高　廿八日の分如左
發送　八〇噸　到着　二九九噸
發送賃金　一二五五、九二
▲龍山驛の乘降客　廿八日の分如左
乘車客　二五七　下車客　二〇八
乘車賃金　二二〇、八二
▲龍山驛貨物扱高　廿八日の分如左
發送　二四噸　到着　二六〇噸
發送賃金　一三七、六七

朝鮮人の行賞に就て

（某大官の談）

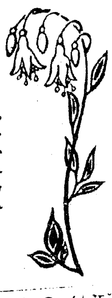
東電の報ずる所によれば今回朝鮮貴族令に依りて貴族に列せらるゝ者は既に大体の詮議を經て其數約五十名なりとのことにして其發表は總督府官制發表後新官廳事務開始期と同時又は天長の佳節に內定したりと云ふが我輩を以て觀るに授爵者の人數を限り又は其發表期を定むるが如きは抑も謂れなきことなり今回の併合事件に關して特に直接に功勞ありたる者は別として其以前より日韓の關係に功勞ありしものゝ如きは一朝一夕にして其事蹟を調査し了るべきにあらず且つ今後と雖も特に國家に勳功を立つる者あるときは論功行賞あるべきは勿論なれば古き過去の事件に就て功勞ありたるものゝ如きは詮議を了るに從ふて之を發表するを可とす何となれば論功行賞のことたる萬遺漏なきを期すべからざるは日淸、日露兩戰役の時に於ける例に見るも明かにして功勞ありて功賞に漏れる者は不平を唱ふるは人情なり今や朝鮮人は何等かの恩命に接すべく息を殺して期待しつゝあるが故に今回の論功行賞の一段落を告げる曉に若し之に漏れる者あるときは不平を唱ふるは明らかなり斯くては陛下の御聖旨にも反する譯なれば寧ろ調査の了るに從ひ漸次之を發表するに如かず斯くすれば自ら功勞あることを恃む者は恩に浴せざるを恨ますして發表の早からんことを待つのみにして不平を唱ふるが如きことはなかるべく兩班儒生の授產に就ても同理なることを信ず云々

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
廿九日	九一、七四七、九二	四七二

●慈惠院擴張に就て　人[illegible]具体の報告未だ出ざる爲め詳說し難きも各方面の情報によれば何れも十二分の成績を擧げ居るが如く新設厚德の標榜として以異に緊肯を得たるものなり斷し目下の所にては雖も一般の希望は固より一の滿足を得られざる狀態なれば今後財政の容す限り漸次擴張の意向あり其費用の如きも可成簡易を旨とし一ケ所の設計費も約五千圓を限り經常又た七八千圓とせば[illegible]る所大なるべし要は唯だ出來得る限り分院數を殖し汎く救苦の實を擧るにありとは某當局者の談話なり

●平北龜城の新金山　[illegible]見したる由當局に通報ありたるが龜城郡地方は連年の飢饉の爲めに地方民は塗炭の苦しみに遭遇し居る場合なるを以て之れを採掘せんとする英國人は之れ[illegible]願出で來れりといふ



邦人十三名監禁さる

▽排斥したる邦人が動機

清國西豐縣衙門所在地たる掏鹿に於て在留邦人十三名が同國官憲の爲めに捕縛投獄せられたる事の眞相に就き聞く處に依れば清暦八月十三日同知縣は在留日本人會長井田哲に對し掏鹿は元來非開放地なるを以て日本人は速かに協議を遂げ退去す可し尙ほ決議の上は退去の月日を定め其の旨請書を提出すべしとの通告ありたるより在留邦人一同は其の翌々十五日井田哲方に觀月宴を兼ね集合し其の協議の結果を齎らして十六日午後三時頃一行十三名袂を聯ねて……

江上に潜伏し居る事發覺され遂に其の主魁と目さる可き惡漢を始めとして他の勢力ある連累者を逮捕したる事實あり去る二十三日管内吾非面の市日に際し保山駐在所にては擧動怪しき三朝鮮人を認め忽ち駐在所へ引致して嚴重なる取調べをなしたるに一人は同地億所機生れの沈利豐(四五)他は黃海道鳳山郡西湖面麥山洞生れの李春三(二四)と云ふ海賊の一群にして市日を幸ひ食糧を求めんため上陸し同時に警察の行動を窺ひ居たるなりと自白し尙我主魁閔東植(二四)が同面を去る二里餘の新井面に潜伏し居る事を告げたれば千葉巡査は早速捕縛したる兩人を伴ひ巡査補三名を引卒して廿四日未明閔東植が潜伏したる場所へ向け急行せしに其途中太美上面に入るや圖らずも目的とする閔東植に出會し折能くも有無をいはせず其場……

大同江上の海賊

▽主魁閔東植其他就縛

大同江上に海賊ありとは世人の夢にも知らざる所なる可けれども保山駐在巡査の手に依りて極めて有力なる海賊大團……

酌婦誘拐取締

仁川 金光堂の惡策

▽妻女の了見違ひ

去る二十日の紙上に……題し掲載したる……田政雄(二)が去る……中時計を仁川喜……却せんとして取……端なくも金光堂……政雄が金側時計……事露顯したる事……中山英策に示し……る時計を僅に五……

雇人の橫領發覺

平壤方面の虎疫

日鮮人聯合大懇親會

騙取事件公判

郵便局盗難

人妻を拐帶す

ピストルを呑む

京城座を觀る

朝鮮芝居の仕入

熊本城内の白蟻

大阪の白米相場

目と耳

浪花館

龍山座

歌舞伎座

壽座

一圓で懲役八月

●天氣豫報(自廿九日午後六時至三十日午後六時)

北東風晴

廿八日(華氏) 最高温度七四七 最低温度五〇四

廣告

古着、古道具、諸雜貨、營業買賣處

京城永樂町二丁目 五十競賣所 電話一四〇七番

●貸間 眺望頗る宜し空間澤山あり御望の方は下記へ御申越しを乞ふ

南山町二丁目一〇一 越芳船 電話一六八一 雄

創立 西暦紀元千八百五十九年(邦暦安政六年)

資本金 一千五百万圓也

準備積立金 四百四十五萬圓也

支拂保險額 七千四百三十二萬圓也

日本に於ける投資金 日本帝國五歩利付公債十萬圓也

英國 ニユージーランド 火災 海上 保險株式會社

日本滿鮮總支店 橫濱市山下町百六十七番 東京、神戸、大阪

支店 朝鮮代理店 京城永樂町二丁目十六番邸 藤原商店 京城支店 電話一八九番

和樂園 名物 湯豆腐のあじも ねてかるで甘いさみなが 自慢の數々 高田屋 電九三七

醫學士木村先生方劑 健胃整腸散 定價十錢 廿錢

○腹痛、下痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良藥

發賣本舗 京城明治町三丁目(電話四七) 小川藥店

▲本品は市内各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ

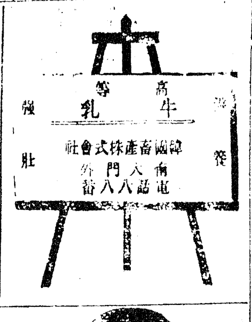
院長診察毎日午前 龍山元町二丁目(電話一〇〇番) 佐藤病院

胃腸病診療

院長診察毎日午後 龍山郵便局北隣(電話四〇八番) 佐藤病院出張所

法學士 北島辯法律事務所 京城裁判所西隣

○諸看板製作 油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗 永樂町二丁目 湛野工舍



古家屋、賣買、新古材木並
トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雑貨
京城本町七丁目京城座前
五十 建築 材料店
電話一千四百二十四番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

本館 本町四丁目(贊化病院前)
特色 夜間撮影
河合寫眞館
電話一二六九

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

芙江 公州 間出帆廣告
芙江發 毎日後一時 京城方面ヨリ急行接續
公州發 毎日前七時 京城方面行急行接續
(荷客共御取扱可申候)
御用向ノ御方ハ(京城仁川鳥致院芙江公州)中條店ヘ御尋被下度候

汽船出港廣告
月串、喬桐、海州行
天草丸
安來丸
成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通
柴田回漕店
(電話四一九)

帽子
シャツ
羽根蒲團
毛布
冬物新荷着
ブドー酒
ウイスキー
ブランデー
洋萓類
京城本町
辻屋
本店(電話二四八番)
支店(電話三六六番)……振替口座八七番

開店一週年に付
破顔廉價大賣出し
九月廿八日より
本場秩父縞
縞類 五圓
紬類 五圓五十錢
甲斐絹 一尺二十錢
均一
其他特製珍柄澤山取揃申候
京城明治町一丁目
秩父屋 關根出張店
(電話四一三)

醇良清酒

京城明治町
大塚京城支店
(電話四百一番)

開業
蒸氣消毒 牛乳
厚養舍 細川牧場
京城青葉町五十番戸ノ一
電話(一參六六番)

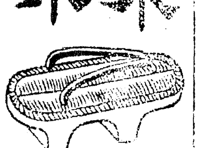
秋の料理相始め候
うなぎ、すし、しる粉とも
從前の通相調へ申候
出前は遠近を問はず多少を論ぜず迅速御用相達し申べく候
壽町二丁目
電話九百四十四番
食道樂

理想的燃料白煙石炭
ハ朝鮮黄海道鳳山郡ノ産ナリ
ハ名ノ如ク白煙ニシテ煤煙少ク煙筒ノ掃除ヲ屢々要セズ
ハ無煙炭ヨリ火付キ善シ
ハ取扱綺麗ニシテ室内器具等ノ汚穢スルコトナク
ハストーブ、オンドロ薪葉代用風呂炊事用ニハ獨占的理想燃料ナリ
ハ撰塊(粉抜き)ニシテ持込ミ壹噸(叺ナシ)金八圓壹叺賣金七十錢ナリ
ヲ重ンゼラルヽ御方ハ一刻モ早ク御使用願上候
白煙石炭
白煙石炭
白煙石炭
白煙石炭
白煙石炭
經濟衛生
官營無煙炭 馬糧大麥
一手引受 販賣店
船橋炭坑採炭所
三井物産株式會社京城出張所
苔米地商店
古市町(電話九四一番)

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舎及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
消毒純良 高等牛乳
京城南大門外
荒井牧場
(電話一〇五六番)
龍山本町三丁目
龍山販賣所
(電話二〇二番)
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

法律事務所開設
今般左記の所に莊子辯護士出張事務所開設致し候に付き一般法律事務を懇篤に取扱へ仕候
辯護士
仁川仲町二丁目五番地
莊子斌事務所
主任 本内千代吉

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

東京

足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

酒精アルコール
新荷着
坂倉支店
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各専門醫に診療を依頼す
但 松村先生の診療時間は午後二時より
和田先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
京城居留民團囑託
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三)

義齒術全般
龍山元町二丁目
飯田健太郎
電話

醇良清酒

醸造元 田口酒造合資會社
韓國發賣元 千鳥正宗仁川支店
(電話三五九)

各種石鹸
化粧品卸商
仁川新町二丁目
月本商店
電話五四〇番

諸官衙御用達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
發賣
東京ランバーソ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險株式會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京南大門通十番 京橋新町一丁目 龍山電鐵新橋 二九六三
(電話)

仁川京町二丁目六番地
(區裁判所横)
後藤法律事務所
電話五〇六